



RESTART
Challenge More.

ゆうばり 市議会だより

55号
2022.5



ゆっくり走ろう！

春の交通安全運動！

4月6日に紅葉山で行いました (^o^)/

* * * * *

第1回定例市議会大綱質問	今川議員・千葉議員	P2		
第1回定例市議会大綱質問	本田議員・小林議員	P3		
第1回定例市議会大綱質問	君島議員	予算審査大綱質問	高間委員	P4
予算審査大綱質問	熊谷委員・本田委員	P5		
ゆうばり小学校6年生とのオンライン意見交換会	・編集後記	P6		

* * * * *

拠点地区の商業誘致、市役所庁舎の建替えを問う



今川和哉

今川 コンパクトシティを推進するうえで市内定住化と人口減少抑制策について。

市長 これまでに実施している施策のほか、住環境の整備と生活環境に応じた居住を提供する施策を展開する必要があると考えている。

今川 生活利便性の高い拠点を作るため商業的機能の誘致が必要ではないか。

市長 公共施設の再編により維持管理コスト縮減を図りながら都市機能を集積させるとともに、拠点形成にかかる商業等の立地促進に向けては公共施設再編の取り組みと同時に、商業的な機能を誘導・誘致していくことが重要と考えている。

今川 現庁舎の耐震性等の危険と建て替えの緊急性をどう判断しているか。

市長 現庁舎は耐震診断の結果、震度6強以上の大規模地震の発生で倒壊・崩壊の危険性が高いとされた。建て替えについては耐震化

及び老朽化対策を同時に満たすもので、市民との市政懇談会や外部検討委員会で審議しつつスピード感をもって進めたい。

今川 財政再生計画の期間にとらわれては危険を放置することになりかねず、市庁舎の問題については、一刻も早く検討と設計を進めるべきではないか。

市長 庁舎整備に関する必要性・緊急性を国・北海道に理解いただきできるだけ早く整備方針をまとめたい。

今川 庁舎建て替えの財源確保をどう考えているか。また、建て替えにおいては庁舎の複合化や民間連携を行うべきではないか。

市長 基金に一定の額を積み立て、将来にわたる負担軽減を図ることが必要と考えるが、財政再生計画に大きな影響を与えないよう十分に協議する。複合化による利便性向上や維持経費の軽減についての検討は必要だが、まずは建て替えに市民の皆様の理解を得たいと考えている。

夕張高校の存続は、夕張市の存続も左右する問題



千葉 勝

千葉 令和4年度新入生のダブルット端末購入に対して助成する理由。

市長 現在貸与しているダブルット端末はマンツーマンオンライン英会話等に用いるため市から夕張高校に通う生徒に貸与しています。北海道は令和4年度から高等学校でも1人1台ダブルット端末整備を進めます。この費用負担は、道教委の方針として「保護者負担を原則」としています。

このことから、夕張市としても入学生が購入するダブルット端末に係る家計の負担を軽減するため助成することになりました。

千葉 夕張高校を選択しない生徒に対して、今後どのような対策を行うのか。

市長 同じ普通科で大学進学を目指す生徒に対しては小規模校ならではのきめ細やかな学習指導や公設塾キセキノによる学習サポート環境があること、就職や専門学校など希望進路の実現のための環境が夕張高校にあることを積極的にPRしてまいりたい。

千葉 夕張高校がなくなつた場合、夕張市への影響について市長の考えを伺う。

市長 夕張高校は現在2年連続で入学者が20名を下回る見込みです。夕張高校の存続は、将来における夕張市の存続も左右すると考えている。

ありとあらゆる手段を使い高校を存続させる手法を模索していく。そのため、私が先頭に立ってリーダーシップをとり、地元進学率向上、市外からの生徒が通いたくする魅力的な高校にするため力を尽くしていく。

千葉 職員給与7%削減を任期最後の今年度で改善する道筋を明確にする市長の決意を伺う。

市長 再生振替特別債の償還完了が近づいた今日、職員の給料がこのままの状態が良いとは私も考えていない。市民サービスのため日々奮闘する職員に酬いるべき私がか先頭に立って国・道に職員給料の改善を強く訴え、財政再生計画の変更同意を得てまいりたい。

地域互助会の設置

職員と政策議論したのか

市長 全庁的な取組み作れなかったことを反省



本田靖人

本田 公約である「地域互助会」設置の進捗状況について。

市長 「小規模多機能自治推進 ネットワーク」へ加入したが、本市には合わないと考えた。組織を作ることを目標とするのではなく、既存の活動をされている市民の活動を尊重しながら、地域互助の仕組みづくりを進めることとした。

本田 「地域互助会」の設置に向け、各課に対しどのような戦略を与え、政策議論を交わしてきたのか。

市長 私段階で検討し、法人的な地域互助会の設置は難しいと判断し、仕組みづくりの入口を福祉分野とすることを決めた。庁議で全体化を図るまでに至らなかった。

本田 令和元年度の一年間は、職員と共に検討するに至らなかったということか。

市長 その通りと言わざるを得ない。

本田 避難行動要支援者の避難を助け合う組織や仕組みづくりが地域互助なのではないか。

市長 まさしくその通り。現段階でそこまで詰め切れていないことについては率直に認めたい。

本田 なぜ、看板政策の方向転換について市民に対する説明責任を果たしてこなかったのか。

市長 丁寧さが欠けていた。令和4年度中で取組みたい。

本田 地域互助の仕組みづくりは、全庁的な取組みが必要な案件。委託先に丸投げすることなく、積極的に取組んでいただきたい。

市長 全庁を活用した取組みを作れなかったことを率直に反省し、議論を進めていきたい。

魅力ある地域づくりの

推進について

夕張メロン栽培の人手が足りない

小林 雇用労働力不足等の課題に対し実施された施策の進捗について伺う。

市長 農業サポーター、外国人技能実習生の受け入れと住環境の整備を推進、後継者の経営継承支援等実施してきた。

小林 新規就農を見据えた地域おこし協力隊の活用が出来ていないが課題は。

市長 特別な栽培管理技術が必要であり、しっかりとした支援体制が必要で体制支援のあり方を議論し、実現可能性を模索する。

小林 生産現場からの声をどのように理解し、施策に反映しているのか伺う。

市長 雇用労働力を求める切実な声を聞いている。農業サポーターの住環境対応や募集に工夫をこらし確保に取組む。

夕張メロンを守るための取り組みは

小林 夕張メロンの生産体制維持に向けた施策内容について伺う。



小林尚文

市長 農業サポーター制度に加え、ハウスや客土、ミツバチ、排水も継続して支援し、優良な農地を維持保全するため「優良農地維持保全対策事業」を実施する予定。

小林 農業サポーター制度の今後の取組について伺う。

市長 安定的な人数の確保が課題、求人サイトをよりわかりやすくし、受入れ後のケアを行い、夕張で働いてもらえるよう働きかける。

小林 多様な働き手の確保に向けた取組について伺う。

市長 特定技能による外国人労働者の受入れに住宅の確保、市営住宅等の目的外使用等、制度を最大限に活用し協力してゆく、他地域の取組も収集し多様な働き手の受入れを検討する。

小林 夕張メロンの維持発展にむけた市長の決意を伺う。

市長 夕張メロンはなくてはならない存在。農家さんに支援をし、100年先まで目指し全力で取組む。

「道の駅」整備事業の

充実について伺う



君島孝夫

君島 道の駅「夕張メロード」再整備方針により、情報発信の強化について伺う。

市長 道の駅「夕張メロード」では夕張の魅力を伝える拠点として、新たに設置するデジタルサイネージ（電子的表示器）などを活用し、札幌をはじめ各地から訪れた方々に南の玄関口として、市内各地への周遊を促し、心に響く情報発信をし、リピーター、夕張ファンの獲得を目指します。

君島 周遊やリピーターの獲得には色々な資源の掘り起しが必要と思うが市長の考えを伺う。

市長 リピーター獲得には自然と歴史の魅力を併せ持つシユールパ口湖の湖面利用のルールや体制の整備、道の駅「夕張メロード」に設置している飲食・休憩スペースやチャレンジスペースの運用開始、他地域と連携した炭鉄港やサイクルツーリズムの取組などを行う。

君島 飲食・休憩スペースやチャレンジスペースとはどのようなものなのか伺う。

市長 飲食スペースは地場産品を活用した飲食の提供、チャレンジスペースは、新規事業者や新商品を開発した事業者の方などが出店、出品し、新たな特産品の掘り起こしを行い、さらなる誘客と新たな地域資源の創出を目指す。

君島 模擬坑道復旧後を見据え交流人口・関係人口を生み出す地域資源をどう繋げて行くのか伺う。

市長 修学旅行などの教育旅行は将来再び訪れていただく大きなきっかけとなるもので、模擬坑道再開時期を見据え、教育旅行の準備に間に合うよう関係機関に積極的に働きかける。

君島 市内の地域資源は各所に点在しており石炭博物館も含め、点と点でつなぎ周遊を促す事が大切と思うが市長の考えを伺う。

市長 市内にある自然や歴史、観光施設、飲食、特産品等の魅力を、人の顔が見え、物語性がある情報発信体制整備、他地域との連携を進め、リピーター、夕張ファンの獲得を目指します。

路線バス、市内線市外線の

適正な運行体系について



高間澄子

高間 夕張支線廃線後、南北軸の路線バスにデマンドやタクシーで地域と軸を繋ぐ交通体系へ転換して丸3年が経過するが、利用状況を踏まえ市長の評価を伺う。

市長 市内南北軸を結び1日10往復の路線バスと、デマンドバス、タクシー乗車補助制度を導入した。交通結節点「りすた」へ全便乗り入れ、バス停新設、一部経路変更を行い、一定程度確立したと認識している。バスへの転換により運賃の増額はあるが、増便や最寄りでの乗降が可能となり便利になったとの声があり、利用者数も1割程度増加している。

高間 JRから路線バスに転換し利用者数も増加とは言え微増程度に留まっている。増やすための課題は何か。

市長 4年度実施予定の公共交通利用実態調査の結果を基に、地域公共交通協議会で議論を重ね、より効率的な運行体系の構築を考えている。

高間 市議会主催の交通事業者との意見交換会の中で、夕張鉄道

(株)から新夕張へ新さつぽろ線における国庫補助金が減額と伺ったが、当該路線の今後の運行についての考えを聞く。

市長 地域間幹線系統において、利用者数が減少し1日当たりの輸送量が補助基準を下回ることで減額となった。通院、通勤、通学で市外への移動手段として必要な路線であり、4年度においては市として減額分を負担し運行を維持する。

高間 負担金の額は、安くはないと考える。例えばJR新夕張駅の利用などバス以外の輸送手段も考えられると思うが市長の考えを伺う。

市長 今後、恒常的にこの額を負担するのは現実的でない認識している。利用者の実態を把握し、JRなどバス以外の移動方法も含め考えていく。

高間 住民の声を広く聴く必要があると思うが、市長の考えを伺う。

市長 市民アンケートを実施し実情に即し公共交通体系の再構築を目指します。

予算審査大綱質問

「官製ワーキングプアの見直しを」 「都市公園再編で風致公園再開を」



熊谷桂子

1. 高齢者・障がい者・要援護者にやさしいまちづくりについて

熊谷 組織体制や人員確保の考え方は。

市長 それぞれのニーズに対応した支援で、効率化のため、入札を経て外注する。

熊谷 外部への委託料のうち人件費を積算する考え方は。

市長 「不当に高額ではなく、法に触れるほど低額ではない」という基準で積算。

熊谷 委託先では、賃金が非常に安く1〜2年で辞めていく人が多い。今夕張で大切なことは、市内で職を得て、働き続けてくれる労働人口増やすことが喫緊の課題。市の仕事にかかわる非正規職員、市から委託され、市の政策を担って働く、非正規職員の皆さんが安心して長期にわたって働き続けられる待遇が必要。そのことが市内の賃金の底上げにもつながり、ひいては定住人口の増加にもつながる。今後、是非とも検討を。

2. 都市公園等再編計画について

熊谷 この再編計画の目的と、滝の上公園、丁未風致公園も再編対象か。

市長 市の都市公園は制定されて数十年が経過し、現在15の都市公園、5か所の児童公園、15の遊び場があるが、量から質への転換を図り、将来の都市機能を考えていきたい。南北の両端に位置する両公園は、今後の課題としてニーズを検討していく。

熊谷 滝の上公園は当然だが、現在ほとんどが閉鎖されている丁未風致公園は、広大な自然の中で、コロナ禍の中でも人気のあるキャンプもでき、将来的にも夕張の宝となる。シューパ口湖の湖面活用とともに、ぜひ再開に向けて検討を。



企業版ふるさと納税

増やせないだけでなく減らしている

市長 企業に対する思いの伝え方足りなかった

本田 市長就任以降の企業版ふるさと納税の新規獲得実績について。

市長 4社820万円でありま

本田 過去のデータを見ると、最も多かったのが令和元年度で約4億8千万円、最も少なかったのが、令和3年度で約1943万円であり96%のダウン。最も多かった令和元年の寄附額の99.6%が前年度以前から実績のある企業、つまり前市長が獲得した寄附と言える。厚谷市長就任以降、獲得が進んでいないだけでなく、令和3年度までご寄附いただけると約束だった企業からの寄附が打ち切りとなるなど、増やせないだけでなく減らしてしまっている。その責任についてどう考えているのか。

市長 私が就任以降激減とのご指摘については、今後地域再生計画の中で支援を必要とする事業を展開していくことも必要だ。企業様に共感いただける、メリットのある施策を考えていく。



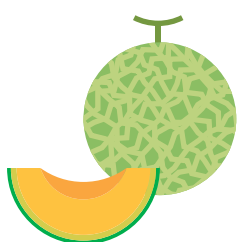
本田靖人

本田 責任についてどう考えているのかという質問なので、それに合った答弁を求めます。

市長 私の企業様に対する思いの伝え方が不足しているのではないかと判断している。

本田 公約である「財政の自立」に向けてどのような次の一手を考えているのか。

市長 市民の不安は、夕張の将来像が見えていないことが挙げられる。今年度策定した地区構想に基づいて令和4年度にはアクションプランを策定する。夕張の未来を見せることで夕張に残る判断材料としていただきたいと考えている。



オンラインで6年生との意見交換会



ゆうばり小学校が開校されてから毎年開催されています「ゆうばり小学校6年生との意見交換会」を2月7日に新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインで開催しました。

高間副議長の司会進行で始めに大山議長の挨拶、次に、議会の仕組みについて今川行政常任委員長が説明しました。

その後、児童30人から一人一個の質問、意見、要望を受け、各担当議員が答弁するかたちで意見交換会が行われました。

答弁を担当する議員は、事前に関係部署へ聞き取りに行くなど、情報収集を実施し、的確な答弁に努めました。

最後に6年生を代表して石上さんから意見交換会の感想も含めてお礼のご挨拶がありました。

子どもたちの中から将来の市長や議員が生まれることを期待しています。

夕張市議会初めてのオンライン会議でしたがゆうばり小学校6年生の皆さまと先生方のご協力が無事終わることができました。



- 児童からの質問、意見**
- 夕張市の借金はどのくらいありますか
 - 通学路の除雪をしてほしい
 - 公園にトイレ、時計、自販機を設置してほしい
 - マクドナルドなどの大型店舗があれば楽しい
 - 教室にエアコン、グラウンドに照明を付けてほしい
 - 信号機を付けてほしい
 - 空き家をなくしてほしい
 - 暗いので街灯(防犯灯)を増やしてほしい
 - 公園、遊べる場所や運動する場所を増やしてほしい
 - 農業、福祉、看護の専門学校をつくつたらよい
 - 高校は学力が高めの学校がいい
 - 何か夕張に人が集まる工夫をしていますか



夕張市議会だより編集委員会

委員長	君島孝夫
副委員長	熊谷桂子
委員	小林尚文
委員	本田靖人
委員	千葉勝
委員	高間澄子
委員	今川和哉

マウントレースイ・スキー場が2シーズンぶりにオープン、今冬の利用者は学校のスキー授業等の多くが中止になった中で約3万人の方が利用され楽しまれました。運営会社は来冬への課題としてスキーとホテルをセットでオープンさせ夕張再生に寄与したいとの考えのようです。

令和4年度市政執行方針のなかで市役所本庁舎の整備について生活利便性の高い拠点の清水沢地区に「建替え」が望ましいと示されました。スピード感をもって進めていただきたい。

編集後記